

ボーリング柱状図

調査名 国道182号 道路災害防除事業に伴う業務委託(2工区)

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	BorNo.1 (百谷)	調査位置	福山市加茂町百谷地内			北緯	34° 36' 28.66"							
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	平成 28年 6月 11日 ~ 28年 6月 13日			東経	133° 19' 12.72"					
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者						
孔口標高	H=395.71m	角			方			地盤勾配			使用機種	東邦地下工機製 D-0型		
総掘進長	8.00m	度			向			エンジン	ヤンマー製 NFD10型		ポンプ	東邦製 BG-3C型		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率 (%)	岩級	孔内水位 (m) / 測定月日	試験		原位置試験 ()	室内試験 ()	掘進状況							
															(P~QN値~深度) 図	値			掘進月日	掘進速度 (cm/時)	コアダマシ / 孔壁保護	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/min)	排水量 (l/min)
1	394.91	0.80	粘り土	褐色	E	VI	d				輝緑岩の風化した粘性土 表層20cmは腐葉土以下、木の根や植物根混入 比較的均質である	90	CL	29	1.15	(0.0, 1.1)			6/11	66	2	60	0	0	0	
2	394.01 393.71	1.70 2.00	玉石混じり砂礫	黄褐色 青灰色	E	IV	d				風化輝緑岩起源の厚層堆積層 φ2~5cm程度の礫を混入 3~5cm程度の礫主体 最大8cm程度 礫間は粘性土を挟む	100	CM	50	2.05	(50)			6/11	66	3	60	2.15	18	0	
3	392.91	2.80	風化輝緑岩	青灰色	C	III	c				5~10cmの短柱状コアを主体とする 亀裂垂直方向に発達し、亀裂面沿いは酸化(褐色)している コア面は平滑である	100	CL	10	2.15	(50, 40)			6/11	66	3	60	3	10	18	0
4	391.71	4.00	強風化輝緑岩	青灰色	C	IV	d				2~5cmの短円形コアを主体とする 一部、亀裂が密集し、角礫状コアとなる 亀裂面沿いに粘土が付着する コア面はガラガラしている	100	CL	0	3.00	(50, 40)			6/11	66	3	60	3	10	18	0
5	390.51	5.20	風化輝緑岩	白灰色	C	III	c				5~16cm片状コアを主体とする 亀裂面の傾斜は90度程度である 亀裂開口している	100	CL	0	3.00				6/11	66	3	60	3	10	18	0
6	390.21	5.50	風化輝緑岩	淡褐色 青褐色	C	IV	d				2~3cmの角礫状コアを主体とする 岩片は脆い 亀裂面沿いに粘土が付着する	100	CH	0	3.00				6/11	66	3	60	3	10	18	0
7	389.81	5.90	風化輝緑岩	黄褐色 青褐色	III	c	d				5~10cmの短柱状コアを主体とする 岩質は脆い 熱水変質を受けている	100	CM	0	3.00				6/11	66	3	60	3	10	18	0
8	387.71	8.00	輝緑岩	青灰色	B	II	b				細礫状コアとなる 岩片は硬質である 10~16cmの柱状コアを主体とする コア面は平滑である 亀裂面沿いは酸化(褐色)する GL-7.50m付近より熱水変質を蒙っている	100		0					6/12							